



令和5年度 校長だより

令和5年8月25日(金)

春日の風Ⅱ

No.5

文責 松下 義彦

令和5年度 前期後半を迎えるにあたり

みなさん、おはようございます。

35日間という長い夏休みが終わりました。今年の夏休みは、大変暑さが厳しくて熱中症による体調管理が毎日のように心配されていました。また、ニュース等で水の事故が相次ぎ報道されていました。そんな中で、こうしてみなさんが元気に今日の日を迎えてくれたことを校長先生は嬉しく思うと同時に、みなさん一人一人が命を大切にされた行動をしてくれたことに感謝をしています。

さて、この後の表彰でも紹介があるかと思いますが、中体連大会において筑紫区・筑前地区大会を勝ち抜き県大会に出場して頑張った人たち、吹奏楽コンクールや合同演奏会で素晴らしい演奏をした吹奏楽部の人たち、あるいは3年生が引退した後1・2年生の新チームで暑い中練習に頑張った部活動生の人たち、文化発表会に向けて活動を頑張った文化部の人たち、また、地域の夏祭りでボランティアとして活躍してくれた人たちなど、この夏休み期間中にも様々な場所でみなさんの頑張っている姿を見ることができました。校長先生も時間がある限り様々な場所に出かけ、みなさんの活躍の様子を見てきました。地域の夏祭りにも全ての地域に行かせてもらいましたが、地域の中でみなさんが頑張っている姿を見たり、地域の方から「中学生が頑張っていますよ。助かっています。」と声をかけてもらったりして、君たちが地域の一員として活躍してくれていることにとても感動しました。これからも、コミュニティ・スクール春日中学校の一員としてますます地域に貢献できる人になってくれることを願っています。

夏休みが終わり9月になると、1年生の自然教室や2年生の修学旅行、文化発表会もあれば、生徒会改選など様々な学年行事、学校行事があります。これらの行事の主役はみなさん一人一人です。

元ラグビー選手で元祖ミスターラグビーといわれた松尾雄治さんの言葉に、「**一人一人が自分の仕事をきちとこなすこと。この個人プレーの連携が、真のチームプレーなのだ。**」という言葉があります。

これは、みなさんに当てはめて考えれば、学校生活の中でみなさん一人一人に何らかの役割があるはずで、委員会や係あるいは各行事での実行委員などです。それらの役割を一人一人が責任を持って仕事をきちんと果たす。それをみんながやっていけば、学年として、また学校全体として素晴らしいものができるという意味です。これから先、学校全体のために一人一人が役割を果たして、すばらしい行事を作ってください。

それでは、まだまだ暑い日が続きますが、熱中症やコロナ感染症に気をつけながら、元気に前期後半を過ごしてください。

